

知人・友人各位

梅雨明け宣言もないままに8月も終わろうとしています。不完全燃焼の夏が過ぎスッキリしないまま秋を迎える間に、個人通信の15号を送らせていただきます。

◎父干場正光、92歳、天寿を全うす

15歳で郵便局に入り、65歳過ぎて直ぐ上の兄憲三にその職を譲るまで、「人生」の大半を明治の創業以来3代目の岩館郵便局長として過ごした父干場正光がこの6月、92歳で天寿を全うした。最近足腰が弱くなり外出することも少なく、同居する三男夫婦の助けを借りることの多い生活であったが、たまに秋田での仕事ついでに顔を出すと元気に自室でテレビを見たり新聞を読んだりしていた。亡くなる2週間前に義姉から脳溢血で半身の自由が利かなくなったと連絡があった。切羽詰まった様子でもなかったのもその内また仕事で秋田に行く時にと半ば親父のことなど忘れかけていた2週間後の朝、たった今亡くなったと義姉から連絡が入る。

田舎への道すがら、物心ついて自分の生き方を考えるようになってしばらくして、親父のような人生は決して送るまいと考えたことが思い出される。生涯居所が同じで、職も等しく、女も一人、そんな変化のない退屈な人生は嫌だと。一度の過ちを悔いてカチューシャを追い続ける「復活」のネフリュードフや「エデンの東」のキャロンとアブラの生涯一度の純愛を至高のものと憧れていた文学少年が、やがて革命青年へと航路を変える兆しがあったらどうか。確かに住まいは3食昼寝つき両隣空き家で閑静、制服を着た召使つき、時々静寂に飽きると目隠しの鉄柵をたたいて合図してアパート中でインターナショナルやワルシャワ労働歌の流行歌を大合唱して召使を右往左往させては憂さを晴らした家賃タダの中野の国営アパートは格別としても、武蔵野のアパートから杉並と練馬の中古分譲マンション、そして小平の戸建と輾転として親父を越えたのはいいが、家の床面積が13坪から10坪増える度に借金が1千万円から2千万円、4千万円と倍々ゲームで増え、借金ゼロで世を去った親父をはるかに越えて、青息吐息なのは如何なものか。

職業も30歳までは学生兼フリーター、40歳まではフリーター兼司法試験浪人、40歳から意を決してサラリーマンに。50歳からは独立して名刺の裏に長々と説明文が必要な、一言では表現しにくい仕事を始める。変化に富み退屈しないのはいいが、終身雇用が前提の日本ではよほど上手く立ち回らない限り有給休暇、ボーナス、退職金、年金と転職の度に損する仕組み。貨幣価値の調節をした生涯賃金では最高学府を出たというのに15歳から郵便局一筋の親父にこのままでは勝てそうにない。

かつて中野の国営アパートに住んでいた頃真夏に一度親父が面会に来てくれたことがあったが、「露助やチャンコロなどとロシア人や中国人を蔑み、中国侵略を正当化していたではないか。侵略を反省しない限り口は聞けない」と追い返したことがあった。親父はよほど腹にすえ兼ねたらしく、「カクちゃんどうだった」と聞くオフクロの頭を突然金盥でたたいたという。夫婦和合、家庭円満の誉れ高かった我が家で母親にまで累を及ぼしてしまったとは初耳であった。一所懸命の父親とばかり思っていたのに、故人をしのんで昔話に花が咲くと色々新事実が出てくる。逋信省の職員だったからか大陸では通信隊に配属され、旧満州を転戦する間に彼の地が気に入ったらしく、一旗揚げようと家族を呼び寄せて

商売することを企んだらしい。家族の反対で思いとどまったらしいが、向こうで商売を始めていたら私など果たしてこの世に生を受けていたかどうか。そんな偶然の命であれば一所懸命と行かないのは仕方がないか。精々今のところ同じなのは女房が一人ということだけである。これとて一所懸命、学校給食のオバサン一筋4半世紀、段々力をつけてくるカミサンである。甲斐性がないとあればいつ三下り半を突きつけられてもおかしくない。あの世で高見の見物の父親にはかなわない。それにあの世の親父に面会してあの時のことを反省しなければこちらに入れてやらないと言われて頭にきて、おい帰ったぞとカミさんの頭を鹽でたたいても果たしてこの世の扉をもう一度開けてもらえるか。だがたとえ成仏できなくともこれだけは私も反省できない。

◎水虫と自民党

あらかたは水蒸気と炭酸ガスに分解して自然に還るために炉にのみこまれて行く父親を見送りながら、我ながらつまらないことを考えるものだと思いつつ、これで親父もあの水虫とお別れか、いや水虫も一緒に成仏したらあの世でもまた一緒に離れられないのではないかなどと思いを巡らす。それにしても北支の戦場でもらって来たという獅子心中の虫は足の爪深く潜り込んで爪を浮き上がらせ、足裏の皮膚深く食い込んでひび割らせ、終生親父を悩ませていた。

ところで中野の国営アパートでもらって来た私の水虫であるが、かつて完治宣言をしたにも関わらず半年ほどして復活、慌ててまた上井草の土橋先生のところに駆けつけしばらく塗り薬をつける。今度こそ大丈夫と思っていたらこの夏、久し振りに復活。うっそう？しっこい奴め！と思いつつも又々上井草へ。幸い今回は最初に巣くった左足の小指と薬指、薬指と中指の間で悪さをしているだけで足の裏と右足は大丈夫であるが、飲み薬も一週間分もらい念のために右足指にも薬を塗っている。薬をつけると水虫もしばらく目立たず大人しくしているが、どっこい皮膚の下深くじっと潜んでいる。水泡も消えきれいな肌が蘇ると、何も無いところに薬を塗り続けるのが何だか無駄に思えて来る。いつか根負けしてつけるのを忘れると、水虫はまた徐々に元気を回復してくるのである。何だか自民党と同じではないか。政権から離れると元気がなくなる。しばらく大人しくしているが社会党を立てて裏でまた悪さを始める。国民が旧悪を忘れかけた頃にいつの間にか復活。自前の政権を押し立て「政治家とは斡旋する動物である」などとうそぶき、公然と悪事を始める。私人が情報仲介を業とするのは問題ないが、議員の先生方が職権を乱用して公共工事を仲介したり、情報を流して政治献金という形であれ対価をもらうというのは政治倫理上は勿論、収賄罪や職権乱用罪などの刑法上の犯罪行為に当たるのではないか。

今回の参議院選の結果も景気と金融の問題は勿論であるが、そんな自民党に都市住民を中心にあいそをつかしたということか。冷戦構造の下で高度成長で膨らんだパイを業界団体を通じてばらまくことで日本型開発独裁の自民党一党支配が成り立ってきたのだが、冷戦構造も高度成長も終り、先進国に追いついてしまった今、一方の社会党が崩壊したのに他方の自民党が無傷なのは不思議である。先の選挙でも相変わらず自民党は第一党で、得票数は増えていると朝日新聞の早野記者は担当コラムのポリチカニッポンで書いていたが、一票の格差が是正され都市部の定数が大幅に増えていたら、もっと劇的な結果をもたらさじらう。いずれにしろ自民党一党支配体制が崩壊するのは時間の問題だろう。それが自民党の変身によるのか、分裂解体によるのか、下野によってもたらされるのか定かではない

が、政界再編の炎が今一度高く燃え上がるであろう。

◎お客さん現金でお支払いしますか

葬式も無事済み、といっても9人兄弟の8番目の私など幾ら包むのと右へ倣えするだけで何もせずに済むのであるが、秋田の空港で腹ごしらえをする。まずいとはわかっているが、杉野屋で名物のキリタンポを食べ、ないとはわかっているが故郷八森の地酒白濁の純米酒はないのと聞いてみてから地酒を昼から冷やで飲む。つい先日出張帰りに駅前の鎌田屋にしようかと迷い、JR東日本常務取締役仙台支社長の今木先輩の顔を思い出して入ったステーションビルの杉野屋にしても、川端の第一会館にしても、銀座の秋田屋、築地の秋田藩もただ塩っぱいだけの、身も薄くテカテカして竹輪のように輪切りしたキリタンポ鍋である。いつもお世話になる岸本総務部長や先日初めてお目にかかった坂東副知事などの霞が関出向組の皆さんは暮れぐれもこんなものを秋田名物などと思わないで欲しい。鎌田屋や杉野屋などの大衆食堂には行かないかも知れないが、ぜひ能代の宮茂登で一度召し上がりたい。薄味でこくがあり、身の厚いキリタンポ鍋である。目の前で団扇をパタパタさせて七輪で今か今かと待つのもいい。もっとも昨秋日経新聞の渡辺論説委員に能代で介護保険について話してもらった時は、空港からの道中前もって連絡して準備してもらったのだが、開演時間が迫るのになかなか炭がおきずじれたい思いをしたものである。

まずいと言いつつも全部平らげ、あとは飛行機で寝て酔いが覚めればまた東京で夜の美味しい酒を飲めると地酒も回っていい気分です。杉野屋を出ると、目の前の売店で何やら品定めをしている見覚えの美人がいる。エ！アパッチじゃないの？とカミさんが横にいるのも忘れて肩を叩くとかつての明大ML派の戦友、河野君のカミさん、田舎に帰って医大に入り直した秋田の細谷病院の副院長のアパッチではないか。なんでインディアンになってしまったのかわからないが、振り向けばかわいい十代の童顔がそこにある。30年ぶりに目と目が合った瞬間、お客さんと後ろから呼びかける女の声がある。食堂のレジのオバさんだ。有無を言わさぬ剣幕でお客さん戻って下さいという。キョトンとするアパッチとカミさんを残して引きずられる様に杉野屋に戻る。

たいした金額ではないがUCカードで払ったところ、エラーが出ているという。サインして下さいと言われるままに伝票にサインして支払い済みの筈なのに、お互い何の確認もしていないのだ。伝票を良く見ると金額欄を初め全部××××となっている。お客さん現金でお支払いしますかと、店員が不審そうに上目遣いに言う。落ちぶれたとはいえそこまで信用を失ってはいないぞ。ここはニコニコ現金払いという訳には行かない。UCに問い合わせるとカードが偽造されたという。秋田にいる間に新宿のさくらやに私のカードを持った外国人が表れ、30数万円のカメラを買おうとしたのでカードを失効させたのだ。最近渋谷のどぜう屋で食事しませんでしたかと聞かれる。駒形の有名な店の支店だ。時々利用する。そこで個人情報盗まれ、偽造されたらしい。沢山の偽造カードをたぐると、共通項としてその店が浮かんできたのだろう。オンラインで照会していたし、支払い時間など不審な点もなかったが、氏名や会員番号などの個人情報は伝票で店に残る。偽造など何らかの手段で磁気カードを手に入ればもう一枚の私のカードが簡単に出来上がる。

疑いは晴れ一週間後再発行された新しいカードが手元に届いたが、なれない秋田で突然置き去りにされたカミさんには文句を言われ、かわいいアパッチとの30年ぶりの出会いは肩をたたいただけで終わったのである。

◎セカンドスクール

環境ホルモンの影響で若者の生殖能力の低下が問題になる昨今であるが、生殖能力抜群、9名の子宝に恵まれた親父との今生の別れともなると、この時あるを想定して作られた田舎のただっ広い家ではあるが、同じく生殖能力の強かった祖父の末裔も全国から集まり全員収容しきれない。幸い我が故郷は風光明媚で夏は海水浴客が沢山訪れ、民宿も多く泊まるころにはこと欠かない。私も2晩民宿に泊まることになった。

風呂は天然の大きいのが眼前にあるせいか小さいが、昔と違いトイレも水洗で小綺麗だ。夏の海水浴シーズンしか使わないのは勿体ない。個室形式でないので大人の長期滞在には難があるが、子供たちの合宿には十分だ。そして多分全国の海や山にはスキーや海水浴のシーズンにしか利用されない同じような施設が山ほどある筈だ。これを通年で利用するようにすれば宿泊費は安くなり、長期滞在も可能となる。そんな施設は大体過疎地にあるから、通年の雇用が生み出され、米や野菜など地場の食料も売れ地域振興につながる。

勿論大人は平日になかなか休みを取れないが、子供なら大丈夫だ。梅雨寒の朝に早く目を覚まし海を見ながらぼんやり考えていた。毎日3百人の子供がトップシーズンを除いて年間3百日宿泊して一日1万円使うとすると年間9億円町に落ちる。過疎で乗客減と便数減のイタチゴッコを繰り返すJRやバス会社など地域交通網の維持にも貢献するだろう。リコーの浜田会長の提案する徴農制も過疎地の海山の施設を使えば初期投資が少なく容易に実現できる。1年といわないまでも取りあえず春秋10日間とか1か月とか自然と親しみながら漁業や農業、林業を学ぶことが全く生産労働と自然から切り離され、バーチャルにしか感覚できない現代の、とりわけ都会の子供たちには必要なのではないか。それでは授業日数が少なくなるというなら、夏休みなど思い切って短縮すればいい。

それで先日週刊ダイヤモンド8/15・22合併号を読んでいたらセカンドスクールということで武蔵野市では小学生は年1回6泊7日、中学生は3泊4日で正課として実施しているという土屋市長のインタビューが載っていた。どこで何を学ばせるかは各学校できめらしい。他でもやっているところがあるかもしれない。新幹線や秋田北空港もでき時間距離が短くなったことだから、魅力的なプログラムを組んで我が故郷に誘致するというようなことはできないのだろうか。以前秋田高校出身の文部省大臣官房の銭谷総務課長と話した時に文部省でも検討しているんですと言っていたが、文部省から母親でもある坂東副知事も来られたことだから県内でも検討されては如何であろうか。

◎中山間地の経済とこれからの日本

私が代表世話人を務める団塊政策研究会の東京での勉強会をきっかけに農業問題評論家土門剛氏、荒岡拓弥長銀総研主席研究員を講師に高山の隣町岐阜県国府町で国府町農業委員会農政部主催、国府町農林課・国府町商工会青年部後援でシンポジウムが行われました。一部割愛の上、D-NET通信14号の報告を転載します。尚土門氏は株式会社による農地取得についてエコノミスト8月25日号で6ページにわたって論じています。

◆基調報告・・・土門 剛

今日は全農大池副会長の地元で講演させていただきます。

●株式会社による農地取得

最近の報道では株式会社の農地取得を農水省は認める様です。全農・全中は「勝手に転

売される」と反対です。経済界は今の農業のやり方では駄目で企業的経営をすべきだと賛成しています。だが一番転用したいのは農業団体です。「転売」反対なら転用規制すれば企業は取得しない。農業にしか使えない土地は効率が悪いからです。農業団体は転用規制が一番怖い。後継者もないし、農機具のローンを終わったら農地を売り払いたい。「先祖伝来の土地」というが、農地開放でただ同然でもらい、高度成長でバンバン上がったとまどいと、いつか転売したい、そんなないませの気持です。今回の参議院選挙前に日本農業新聞がアンケートをとったら、株式会社の農地取得に7党中5党が反対です。自由党だけ賛成で、公明は賛否を明かにせず、自民党は原則反対。原則というところがミソです。

●問題はやる気と情報

中山間地の農業は大変だというのが、中山間地でも十分やっていける。サカタのタネも参加している岐阜のセルトップは全国に苗を売って成功している。愛知は全農でやって失敗してセルトップから苗を買っている。安房トンネルができて便利になったので、セルトップは関東へも出ていくだろう。補助金でぶら下がっているところは駄目だ。北海道をはじめそんなところは益々大変だろう。

問題は情報がないことだ。エコノミストは次の選挙で「自民党」はなくなるかも知れないと書いている。今回の選挙の投票率は都市部が伸びた。特に大阪は21%もアップした。これは①経済失政②金融機関の破綻処理の遅れが原因だ。無能な政府でも民間はよくやっている。航空運賃や電話代等も下がっている。2001年は日本にとって最大の危機でもあり、チャンスでもある。①4月にはペイオフ制度が導入され、1千万円以上の銀行預金は保険で保護されない。自分のことは自分で考えなければいけなくなる。②米輸入が自由化される。食糧庁は150万トン管理する人間だけでよい。やがて民営化し、全農を米流通から外す。農協も経済連を通さずに米を上場できる。株式会社が土地を所有すると減反すれば経営効率が悪くなるので減反に協力しない。38%も減反し、操業率62%でやっていけるか。株式会社だと土地を担保に銀行から金を借りられるので規模拡大と機械化で効率化もできる。米も作りただけ作り、自由に売れるようになる。チャンスだ。

●しがらみを捨て自分で考えよう

地方の人は視野が狭く自分で判断できない。PTAの役員や消防団の幹部をやって年1回上京して満足する。上に逆らえない優等生しか残らない田舎に企業が来るか。労働力の安さだけが魅力なら外国が安ければそちらへ行く。不良がいないと、つまり発想が豊かでない企業は来ない。国府は全農副会長のお膝元だが、減反を100%達成してみすみす儲ける機会を失っている。今年産米は値上がりするのに。

開拓村が成功するのは背水の陣で入植し、集落のしがらみがないからだ。秋田県の大潟村は五百数十戸の内半分は県内出身者だが、従順で上の言うことを聞くので貧しい。県外出身者は減反を守らないので豊かだ。15町歩の農地で12町歩しか作らないのと、15町歩全部米を作るのでは大違いだ。集落意識を覆さないと豊かになれない。

昔江戸で大火があると2~3日で高山に伝わり、木材を江戸に送って大儲けした。そんな人間が立派な寺を寄進した。今、皆は米相場を見ているだろうか。電話、インターネットの時代に地方紙を見ても情報は伝わらない。私のところに取材に来る地方紙は北海道新聞と西日本新聞だけだ。他の地方紙は取材に来ない。農協にべったりだからだ。

◆自由討論

- 坂口（国府町議） 円高で繊維も電機も木工も駄目になった。最後に残った木工も外に出かかっている。ところが1ドル130円になって閉山していた亜鉛の神岡鉱山も又掘り始めた。円安政策の方が地方にはいい。
- 土門 1月に引っ越したが、家を変えると家具が欲しくなる。三越でいい家具を見て、3割安く買えないかと大塚家具へ行ったら、世界中の家具が安く買える。要は流通と情報をうまく利用することだ。昭和36年に農協ができて、2、3男を都会の工場へ出し、農業は選択的拡大ということになった。工場はうまくいったが、農業は駄目になった。護送船団で規制したのがいけなかった。
- 坂口 誰もが工夫してうまくいく訳ではない。
- 土門 競争して脱落して行くのは仕方ない。
- 坂口 米が駄目だから花やリンゴを作れといっても、リンゴが又、過剰生産で駄目になる。
- 土門 カメラが駄目になってもドイツは文句を言わない。アメリカにも潰れる産業がある。日本だけ輸入しないという訳にいかない。兼業農家で1千万あっても農業所得は百万ほど。他の部分で輸出産業と関連する。例えばメガネフレームの福井の鯖江だ。
- 長瀬（果樹） 農学部出身だが、同窓会に出ると工学部出と比べて所得が1/3だ。
- 小嶋（京都府・加茂町議・農業） 農林大臣が変わると農業政策も変わる。都会に近いので後継者難だ。減反率40%ではいずれ田圃はなくなる。
- 坂口 肉牛農家が2戸来ている。1戸は補助金7割で立派な牛舎を作り、片方は補助金なしでその3割の経費で木造の牛舎を作って立派にやっている。
- 山崎（米作） 圃場整備で1枚5反にして、40町歩ほど預かっているが、減反で38%分転作を強制される。これでは後継者育成にならない。
- 関（富山・農業法人） 20町歩作って、減反を拒否している。農協が言って来ても給料3割減らしてから来いという。売るのも自分でやる。補助金も貰わない。10年やってベンツにも乗れる。
- 坂本（花卉） 昭和44～5年頃から米を作るのが嫌いで、自家消費以外は米を作らない。できるところは全部ハウスにしている。価格保証なしの作物を作る者からすると米はドブに金を捨てているようだ。円高になると花の輸入が始まる。1ドル100円だと洪水の様に入って来る。110円でマアマア、円安になるとピタット止まる。130円だと入って来ない。多少入って来ても日本の花の品質は世界最高だから。
- 牛丸（役場） 減反係りもする。こんな給料高い人間にこんな仕事をさせてどうするという気もする。自由化して強い者が勝つようにするしかないが、子供の職業には迷う。
- 坂口 トヨタがオーストラリアでユーカリの木を植えて10年後には製紙原料として日本に持って来る。林業も厳しい。
- 駒田（岐阜県議） 10年待つと林業も太刀打ちできるようになるという人もいるが。
- 野中（設計） 建築設計をしていて、箱物などで潤ったが、消費税の反動で厳しい。アジア対日本というより、地方対中央の関係が問題だと思うが、都会の人はどう思うか。
- 森本（教師） 先生をしているが、子供にどういう夢を持たせるか難しい。農協は潰れるのだろうか。
- 柏熊（愛知県議） 岡崎に住んでいるが、支持者には農家はいない。土地の値上がりに関心はあっても、農業には関心のない農民が多い。
- 都竹（肉牛） 頭数と質（値段に3倍の差）で良くないといけない。補助金で頭数増やし

ても、サラリーマン感覚になって質が悪くなる。

曾我（京都府・加茂町議） 2極化の時代になり、自分たちの暮らしやすい生活を選択できる時代になったと思う。

桜井（長野・清内路村議） 椎茸はいい物を出すと高く売れる。外国からも入って来るが、いい物ならやれる。木材は消費者がいい物なら1割、2割高く買ってくれるかだ。

黒沼（生保） 残業無くなり給料も5万円くらいダウンしている。すると削るのは生命保険なので辛い。若者は給料や待遇悪くなると直ぐ仕事を止める。後先を考えずに止めるので、再就職できず保険料払えなくなるので困っている。

坂口 高山の家具はいいというが、国府の木工は孫請け、4次請けで商品開発もできない。

桂木（世話人） 情報やデザインで付加価値を付けるしかない。物作り、花作り、牛飼、家造りも同じ。

坂口 弱者にも声を掛けて、今日の会合に出席すると言っても、実際は来ない。

土門 団塊の世代にしては敗北主義だ。競争にひるみ、どこかにぶら下がろうとしている。前向きでない。政治の救済はこれからは当てにできない。

平田（肉牛） 昔は1町歩で食べられたが今は駄目。

干場 八森という秋田の白神山地の麓の海の幸、山の幸に恵まれた町の出身ですが、山には直ぐ土砂で一杯になる砂防ダムが沢山あり、綺麗な海岸線はテトラポットで埋まっている。それでいて山は荒れ、結果として海も荒廃し過疎化が進み、失業対策としての公共事業頼みの悪循環が進む。国府では米、肉牛、果樹、花、椎茸など規模を拡大し、工夫して儲かる農業を立派にやっている方がいて、農村の進むべき方向を見る思いです。私の田舎ならその上で余った労働力を白神の観光や、一次製品の加工、福祉などに展開していけば展望が少しは出て来るかという気がします。

土門 農業団体は農地を売った金を狙う。株式会社が農地を持てるようになると土地を担保に儲かるところには銀行が金を貸す。そうすると転用規制をしっかりとしないと店舗や工場になって、排ガスなどで農業をやりたくてもやれなくなる。

駒田 食糧の自給率、国、家庭の立場に立っても地場の食品が良い。

土門 自給目標を数値で示すと甘さが出る。一戸20町歩の農家にして生産性を上げなければならない。

坂口 それでは10人の内9人が農業を止めなければならない。

土門 北陸でさえ農家の農業所得は10%。農業を止めても少し生活水準落とせばよいだけだ。都会のサラリーマンは会社止めて、失業保険も切れると所得がなくなる。

駒田 農村計画法が出てくる必要がある。

土門 ウルグアイラウンドで6兆円使ったが、ここで農業構造を転換すべきだった。でたらめなハコモノに金を使ったが、農家を素通りした。高規格が条件でゼネコンに金が入っただけだ。これから米価は下がるのに自己負担分の借金の返還が始まり、老人の年金が差し押さえられたりして大問題になる。

荒岡 論点が多岐にわたりまとめられない。質問に答える形にしたい。バブルがはじけた後、比較優位の重化学工業が伸びず、分配がうまくいかない。パラマキの原資がないので、政官癒着の大蔵主導の自民党型政治が崩壊した。アメリカは競争力がない、つまり貿易収支が赤字なのに成長力があるのは内需が活発だからだ。アメリカのように成長力を高め、内需で成長するようにしなければならない。為替相場で一喜一

憂しない産業構造はある。金融問題ではアメリカの貯蓄組合は違法行為をしたが、日本の銀行は違法行為をしていない。当然刑事責任は問えないが、経営責任は問うべき。国が30兆円用意しても経営責任を問われるのを恐れて銀行経営者が手を出さない。これは問題だ。このままだと信用収縮で来年は失業率が6～7%に上がる。500兆円のGDP（国内総生産）の内、貿易黒字はたかだか10兆円。内需を重視した地域経営を考えるべきである。

◎D-NETのこれから

通信がお手元に届く時は過去形になっているかもしれませんが9月3日（木）PM6時より国会協の憲政記念館で会員の岩城光英（福島・自民）、今井澄（比例・民主）の参議院選祝勝会を行います。講演早野透朝日新聞編集委員、提言荒岡拓弥世話人・長銀総研主席研究員。会費8千円です。9月18日（金）は大西隆東大都市工学科教授・国土審議会委員を講師に「5全総で地方はどうなる」という題で14回目の勉強会を、10月13日（火）の15回目は「女性と政治参加」をテーマに三井マリ子全国フェミニスト議員連盟代表世話人を講師に、いずれもPM6時半より学士会館本館で行います。軽食付きで会費3千円です。

◎三鷹クラブのこれから

9月16日（水）中前国際経済研究所代表中前忠氏（S33年入寮）を講師に「日本経済はどうすべきか～ヨーロッパからの視点を加味した世界経済分析」のテーマで21回講演会を行います。11月17日（火）の22回目は吉野浩行本田技研工業社長（S34年入寮）が講師です。1月の23回はロシア問題の袴田茂樹青山学院大教授（S39年入寮）に話してもらいます。いずれもPM6時半より学士会館本館で食事付きで会費5千円です。大阪での3月の24回目は「緑の地球ネットワーク」の高見邦雄事務局長（S41年入寮）に黄土高原緑化と最新中国事情について話してもらう予定です。

尚、番外で9月30日（水）夕に柳澤伯夫国土庁長官（S32年入寮）の大臣就任祝賀・記念講演会を学士会館本館で行う予定です。

◎能代山本フォーラム21のこれから

第8回講演会が伸び伸びになっています。石井幸男運輸省観光部長に観光開発について話してもらう予定でしたが、休日3連休法案が先の国会で継続審議となり果たせませんでした。臨時国会で法案が通り次第実現したいと思います。それに産業立地が専門の荒岡拓弥・長銀総研主席研究員にも「これからの環境産業」について講演をお願いしています。この夏、田舎では能代火力3号機着工が延期になり騒ぎになっていましたが、港を活用した環境産業の立地を凶るのはどうでしょうか。

◎終わりに

以前触れたことがあるが八森にようやく風力発電の風車が回るようだ。子会社だった発盛鉱山の跡地に住友金属鉱山が実験プラントを作るという日経新聞の報道を見た時は嬉しかった。さっそく住友金属鉱山の中平先輩（S40年入寮）に電話して確認した。白神の麓に環境と調和して沢山の風車が回るのは壮観だ。成功を祈って筆を置こう。